

(様式2(1))

事業所名 グループホームしゃくなげ

### 目標達成計画

作成日: 平成 23年 4月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21 26	開設7年となり、入居者の高齢化及び認知症の進行が見られる。介護の個別ケアの量が増えスタッフが対応に追われている状況です。	帰宅願望の訴えが強く、度々外に出られる方が1名おられる為、対応に時間の多くを割いている状況なので、落ち着いて生活して頂くようにすることが必要と考えている。	ケアプランの見直しを繰り返し統一的な対応してゆく。精神科等の専門的アドバイスを受ける。	12ヶ月
2	40 43 45	利用者のADLが著しく低下、介護が重度化している。(車椅子の使用・入浴時の2人介助者・紙パット使用者の増加等)	安全な介護の実施。転倒事故に注意し更なるADLの低下防止を図る。	支援会議にて、個々の介護について安全面や見守りを検討する。 身体機能低下防止の為、朝のリハビリ体操だけでなく夕食前に立ち上がり・かかと上げの訓練を8名の方を対象に実施する。 個別訓練の実施。	12ヶ月
3	35	災害対策としての、3日程度の備蓄が不十分である。	飲料水・食料の3日間程度の備蓄	飲料水54L 缶詰 レトルト食品(お粥)	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。